


河井 孝仁

かわい たかよし / Kawai Takayoshi

<p>所属・役職</p>	<p>合同会社公共コミュニケーション研究所 代表 CEO 公共コミュニケーション学会 会長理事</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>神奈川・東京・静岡他全国対応可能</p>	
<p>略歴</p>	<p>1982年 静岡県庁入庁（情報政策室等で勤務） 2004年 （財）静岡総合研究機構派遣 2005年 東海大学文学部広報メディア学科 助教授 2010年 東海大学文学部／文化社会学部広報メディア学科 教授 総務省地域力創造アドバイザー・日本広報協会広報アドバイザー兼任</p>	
<p>こんなことを 支援できます</p>	<p>①シティプロモーション・行政広報 ・ソーシャルメディアを活用したシティプロモーション戦略の策定・支援。 ・定量的なロジックモデルに基づく戦略的な広報事業の運営を支援。 ・ICT活用広報・観光振興・関係人口創出に向けた取組を支援。</p> <p>②オープンデータ・EBPM ・エビデンスに基づく政策立案（EBPM）の導入支援。 ・オープンデータ活用による住民サービス向上策の提案。</p> <p>③DX推進・人材育成 ・AI活用・生成AI活用を含むDX推進計画の策定支援。 ・DXに関する知識習得・研修・育成プログラムの企画・実施。</p>	
<p>自治体向け メッセージ</p>	<p>定量的な目的を明確にした、ロジックモデルに基づく戦略的な事業運営を支援できます。地域情報化を基礎とした行政広報・シティプロモーション・NPOと企業の協働に係る研究及び支援の豊富な実績があります。</p>	

<主な専門分野>※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

広 ICT活用広報
 EB EBPM
 観 観光

<地域情報化に関する実績>

- ・ SNS 及び AI 活用を含めた「説明できる」行政広報について、主にメディア活用戦略モデルを活用した展開、実践に係る、管理職研修・一般職研修・ワークショップ・アドバイス・計画策定支援を「傾聴・認知獲得・関心惹起・探索誘導・信頼供給・共感形成・行動促進・情報共有支援の要素及び要素間連携としての広報」の考え方をを用いて全国多くの地域で実施
- ・ 地域住民と連携して行うシティプロモーションについて、地域のブランディングにつながる地域魅力創造革新スパイラルの発想による、管理職研修・一般職研修・地域住民の参加を含めたワークショップ・アドバイス・計画策定支援を「ペルソナ・ストーリー・バックキャスト思考」を用いて、全国多くの地域で実施
- ・ シティプロモーション及び行政広報の成果を定量的に評価可能とする修正 NPS 及び mGAP（修正地域参画総量指標）の導入にあたるアドバイス、計画策定支援を全国多くの地域で実施
- ・ 地域ひと図鑑の発想を活用した、地域のヒューマンリソース（HR）の可視化、可視化した HR の組み合わせに基づく地域課題解決をゲーム発想による、地域住民を含めたワークショップを実施
- ・ 上記内容については、著書『地域プロモーションの思考-行政を斜めから見ると地域がわかる-』（彩流社 2026）『「負けるが価値」の地域術』（彩流社 2025）『「ウェルビーイングなまち」を育てるプロモーション』（第一法規 2024）『戦略的に成果を上げる！自治体広報のすごい仕掛け』（学陽書房 2023）『新・シティプロモーションでまちを変える』（彩流社 2023）『市民は行政と協働を創れるか』（彩流社 2022）『「関係人口」創出で地域経済をうるおすシティプロモーション 2.0—まちづくり参画への「意欲」を高めるためには—』（第一法規 2020）に詳しい